

3 富山県立学校校務 DX 計画（主に特別支援学校）

令和 7 年 6 月

1 校務の改善に向けた取組について

I C Tを活用し、児童生徒の力を最大限に引き出すとともに、業務の効率化など教育現場の負担軽減等を図り、ひいては教育をより良い方向に変革することを目標とした富山県学校教育情報化推進計画を令和 5 年 3 月に策定した。その 4 つの基本方針のうちの 1 つとして、校務の改善に向けた取組としての「校務の I C T 化等による業務の効率化」を示している。

2 校務の I C T 化等による業務の効率化を推進する上での現状と課題

本県では、教員への 1 人 1 台端末の配備による校務の効率化や教職員の業務負担軽減、統合型校務支援システムの整備、校務の I C T 化による学習指導や生徒指導等の質の向上を図ってきた。一方で、学校内の連絡等については、職員会議や教職員への周知、行事予定や特別教室の利用予約等のデジタル化は進んでおらず、クラウドツールの積極的な活用による負担軽減とコミュニケーションの活性化が課題である。

3 校務の I C T 化等による業務の効率化を推進するための課題解決策

校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因となっている FAX や押印の原則廃止に取り組む。また、統合型校務支援システムへの名簿情報等の不必要な手入力作業の一掃に取り組むとともに、クラウドツールの積極的な活用を図り校務 DX に取り組むため、ICT 研修等において情報共有や事例紹介等を行う。

4 次世代校務 DX 環境の整備について

令和 5 年 3 月に文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境（ロケーションフリーでの校務実施、ダッシュボード上での各種データの可視化を通じたきめ細やかな学習指導等が可能となる校務 DX の在り方）を目指し、必要な環境整備について今後、検討を進める。